

正算 補予



補正予算の主なもの

会計	補正額	内容
下水道事業会計	750万円	(歳出) 下水処理場等のウォーターPPP導入検討に係る業務委託料
一般会計	△7,138万7,000円	(歳入) 地域医療介護総合確保基金事業補助金
	2億8,000万円	(歳出) 負担金 相馬方部衛生組合病院事業

ウォーターPPP導入検討に係る業務委託料の計上 グループホーム建設補助金の減額

下水処理場等の

ウォーターPPP導入検討に係る業務委託料の計上

下水処理場等のウォーターPPP※1導入に向けた検討業務に係る国の補助が確定したため計上するもの。

※1ウォーターPPPとは、官民連携方式として長期契約で複数施設の維持管理・更新を一体的にマネジメントする方式のこと。

議員

委託先について問う。

市

委託業者は公益社団法人日本下水道事業団である。なお、委託内容については、ウォーター

議員

PPPに移行するための検討、洗い出し作業となっている。洗い出し結果の判明時期について問う。

市

令和8年度中に洗い出し作業が終わる予定である。この洗い出し作業は下水処理場などの運転管理から維持管理、さらには、下水道管路や下水処理場の更新といったところまでを民間事業者において包括して委託できるものなのかについて検討するものである。包括内容などの結果が出るのは令和8年度中を見込んでおり、早くても令和10年度から包括委託が開始できるように準備を進めている。

グループホーム建設

補助金の減額

当初、補助金の対象として4事業者を見込んでいたが、建設を行っているのは2事業者であるため、残る2事業者分の補助金を減額するもの。

この補助金は、認知症高齢者生活介護、いわゆるグループホームの建設に対するもので、県からの補助金であり補助率は10分の10となっている。

議員

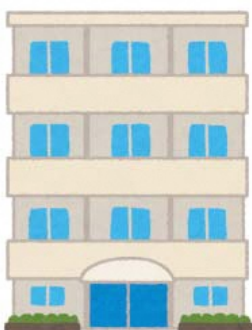
昨年度も同様の内容で減額があったが、事業者は計画的に整備を進めているのかについて問う。

市

2つの事業所とも令和8年度中の完成を目指している。一つ目は日立木地区に建設中で、本年7月1日の開設を目指して工事が進められている。

二つ目は黒木地区に建設中で、令和9年3月1日に開設の予定となっている。

また、同補助金を活用して小野地区に建設中の看護小規模多機能型居宅介護事業所については、本年9月1日の開設に向けて整備が進められている。



公立相馬総合病院への負担金の増額

相馬方部衛生組合病院事業2億8,000万円の増額は、公立相馬総合病院に対する負担金であり、病院経営の維持を目的として措置する特別負担金3億5,000万円のうち、相馬市負担分として2億8,000万円を計上するもの。

資金不足比率※2が20%を超えると設備投資や医療機器の更新に必要な起債などに制約が生じるおそれがあるため、病院経営を維持するために負担する。

※2 資金不足比率とは…

公営企業会計の資金不足額の割合を示す指標です。

割合が高いほど経営的に厳しい状況にあります。

資金不足比率

$$= \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$